

2022年12月10日(土) 9:30～11:30

★参加 11 団体

★参加者数 12 名

	団体名	取り組み他
1	あそびば もこ・あ・もこ	親子、子どもの居場所：手作りおもちゃ、子育て相談
2	ユースネットふくろい	若者の居場所：ひきこもり解消支援、就業支援
3	SWOS の会	寸劇で小学校訪問：人権教育（いじめ問題）、性教育 他
4	袋井むかし話の会	・地域の民話の掘り起こし・昔話公演・伝承、継承活動
5	アンサンブルグレース	楽器演奏で交流：高齢者支援・外国人の子供支援
6	NPO 法人健康文化クラブ	・生涯学習講座・うたごえ広場・ふらっと事務局
7	NPO 法人国際教育文化協会	・ブラジル人学校・放課後児童クラブ・パソコン教室
8	花車の会	・交流の場づくり・地域課題の学習・生涯学習講座開催
9	竹野 昇（市議会議員）	社会課題の解決に取り組む
10	ユニバーサル農業研究会	農福連携、6次産業化：藍染、千両、椎茸、葡萄の栽培
11	EM ショップはこべの会	・EM 活用で環境改善・生ごみリサイクル・水質浄化

団体活動の情報共有から見えてきた「つながり」

■「民話の掘り起こし」と「学校での読み聞かせ」

小学生対象の「読み聞かせ」「寸劇」の題材に地域の民話からわかりやすく伝えることができるなら活用したい。団体同士の交流を深めて行く。



■「子どもの居場所作り」と「若者の居場所作り」

居場所作りは、発信がニーズに合うところで参加してもらえる。SNS の活用も有効。

団体同士のつながりもあり、個人参加も大切にして徐々に多様なつながりを活用している。

■「環境教育」と「6次産業化」

EM 菌を活用して小中学校のプール清掃を行い洗剤を使わない実践教育。生ごみリサイクルの PR 活動を通じて自然農法につながり安心安全な食品を提供する 6 次産業化と深く関わって行く。農福連携の藍染事業は大学生の研修受け入れから発展し、大学のゼミのカリキュラムとして藍染体験や製品化の企画を実施中。



■「大学生の市民活動体験」と「社会貢献」

2021 年から浜松学院大学生の長期企業内留学をふらっとが受け入れて多種多様な市民団体に体験実習をお願いしている。どの団体でも将来に役立つ貴重な体験をさせて頂き社会貢献の意味を感じ取ることができます。市民活動の後継者育成にもつながる意義深い取り組み。

■「生涯学習」と「高齢者支援」

生涯学習の必要性は言うまでも無く高齢者には認知症予防、健康維持に役立ち医療費削減に貢献する活動。市民活動の多くは高齢者が担っている事も見逃せない。後継者不足も課題。子ども、若者に伝え教える行く高齢者の役割も大きく、それと同時に学習する高齢者に行政の支援を少し向けていただければ教育文化は更に発展するでしょう。

2022 ふらっと祭～ふらっとサミット～まちづくり

報告書

2022年11月26日(土) 9:30～11:30

★参加 17 団体

★参加者数 21 名

	団体名	分野	取り組み他
1	あそびば もこ・あ・もこ	子育て	*居場所づくり
2	ユースネットふくろい	子・若	*心のケア・徳育
3	ありがとう広め隊	徳育	◆他団体とつながる
4	神長やわらぎの会	高齢 ・ 福祉	*交流の場づくり
5	生活支援ネットワーク支え愛		*心と身体の 健康支援
6	高南ちょい助け合い隊		*災害被災者支援
7	シニア支援センター		*障がい者支援
8	NPO 法人すずらんの会	総合 支援	*生活支援
9	花車の会		*助け合い事業
10	新日本婦人の会		◆ネットワーク作り
11	生活と健康を守る会		◆ニーズに対応した サービス提供
12	NPO 法人ふぁみりあネット		◆情報・人財・資金 必要な時と場所に
13	NPO 法人健康文化クラブ		
14	木下 正 (市議会議員)		
15	白木を守る会	環境	*地球温暖化対策
16	再エネを進める会		*ごみ削減・自然農法
17	EM ショップはこべの会		◆今できることをやる



課題	取り組み・対策等
高齢者、障がい者の外出ニーズに対応するだけの支援が確保できていない。事故のリスクもあり支援が進みづらい	多様な手段を活用して明確なニーズ情報を発信する。個人レベルから公的支援に移行できるように地域の組織に情報を伝える。
地域内の交流、横のつながりが薄れてきている。コロナ禍、少子高齢化や老後の生活への不安と自己中心的な考え方の生活体系になりがち。	同じ方向を向いて活動する人達と繋がって少しずつ仲間を増やす。 祭り、バーベキュー、花見等、楽しく人が集まる機会を作り活用し繋がる。
小さな団体では人財が不足し、支援活動に対応しきれない可能性がある。	関係する団体や活動に興味を持って頂ける個人と繋がることと、人財のスキルアップで乗り切っていく。
災害時にほしい情報が届かない。支援したいが、どこに行けばよいか判らない。	ふらっととして防災関係の市民団体と積極的に繋がり、被災者支援情報は社協と共有できるように働きかける。

ふりかえり

地域内の課題や団体の課題はあるが解決に至る糸口も見えず、置き去りにしていた事が、ここで他団体の情報を知り、色々な選択肢を探る機会に出会えた。「つながり」を作り広げる事は市民活動には不可欠な事と再認識できた。他団体との交流は新しい発見もあり刺激になる。次回も多様な団体と交流し「つながる」事を楽しみにしている。